がん化学療法研修の経時的な反復測定による研修効果の評価

大網白里市立国保大網病院
がん化学療法看護認定看護師　外来副看護師長
齋藤砂織

＜研究背景＞

当院は様々な院内研修に取り組み開催している。それらの研修の効果測定については、研修後にカークパトリック 4 段階評価というモデルを使用しアンケート調査を行っている。

　カークパトリックモデルとは、教育の評価モデルであり 4 段階のモデルで教育の評価を測定する手法で、レベル 1.からレベル 4.までの段階を追って研修の効果を測定するものであり、当院のみならず一般的に、多くの施設や研修で汎用されるが、殆どはレベル 1.「Reaction（反応）」、いわゆる受講者の満足度調査止まりとなっている。しかし、真に有効で有意義な研修とは、受講者の得たい知識や技術を提供することができ、受講者の意識や行動に望ましい変容が起きることであると考える。

　2016 年に、従来のカークパトリックモデルを改編した新カークパトリックモデルが提唱された。そのモデルでは、先行的に研修を行って慣例的にアンケートを取るのではなく、レベル 4.「results（成果）」レベル 3.「behavior（行動）」を目標に研修を組み立て実施し、研修後にレベル 1.「reaction（反応）」レベル 2.「learning（学習）」を測定するものである。また、新カークパトリック評価では、レベル 4 から研修の組み立てを行うことで、旧カークパトリック評価では追跡が困難であるレベル 4.「results（成果）」レベル 3.「behavior（行動）」の評価が行ないやすくなっている。

今回、がん化学療法看護認定看護師が実施する「がん化学療法看護研修」の研修では、この新カークパトリックモデルをもとに研修を組み立てて行う。そして、アンケート調査は、直後の一度のみではなく複数回実施する。有名なエビングハウス忘却曲線では、一か月後の節約率（一度記憶したことを思い出すまでの時間）が 21%まで下降するとされている。それをふまえ、一か月後・三カ月後にも同様のアンケート調査を行うことで、知識・技術の定着がどの程度であったかを調査する。その結果を検討し、講師・受講者双方に有意義な研修の骨子を探索する。

＜方法＞

1.対象者の抽出

化学療法看護に携わる受講希望のある看護師

2.事前アンケートを行い、受講者の研修へのニーズを知る

　それに基づいた研修内容を作成する

3.事前アンケートに基づいた内容の研修の実施

4.研修会終了直後にアンケート調査を実施する

5.研修終了後、経時的アンケート調査

　受講者の研修で得た知識・技術など、臨床での実践頻度の自己評価を指標とし、受講者は、研修前・研修終了後一か月・研修終了後三か月時点の計三回の回答を得る

がん化学療法研修の経時的な反復測定による研修効果の評価

大網白里市立国保大網病院
がん化学療法看護認定看護師　外来副看護師長
齋藤砂織

＜倫理的配慮＞

調査対象者には、回答により不利益を被ることはないこと、同意を撤回したい場合はいつでもできることを、口頭と書面をもって同意を得る。同意を得て回収したアンケートは、書面・USB で保管し院内から持ち出さず、研究終了後速やかに破棄を行う。

観察研究 B1 に該当する研究です。
2023 年　日本がん看護学会学術集会で発表します。